

編集後記

第21巻2号は原著1本、報告2本、資料1本からなる4本の論文により刊行することができました。このうち、3本は臨床で活躍をされている方々が取り組んだ研究の報告です。看護師として患者や家族、他の看護師や医療者、福祉職と向き合い、看護を実践しながら、見えてきた課題に研究として取り組み、この取り組みや結果を論文にまとめて発表すること。日々の業務だけで忙殺されそうな中であっても、看護を向上させる拠り所となるものを追究しようとする真摯な姿勢を見せていただきました。また、原著論文については、アルコール依存症にかかわる医療専門職の視点での困難さに着目し、課題を見出して、今後のより良い支援に向けた貴重な考察を示されています。査読者の方々には、各論文の質をより高めるよう的確なコメントをいただきました。微力ではありますが、編集委員としても論文がより良いものとなるよう尽力してまいりました。

東邦看護学会は臨床で活躍されている看護師の方々が多く所属する学会です。日頃の看護実践でみえてきた視点や課題、これらを臨床と教育とが協力し、それぞれに切磋琢磨して研究し、成果を発表することができるよう学会誌を目指したいと考えております。研究成果の発表の場として、または研究成果を知る場として東邦看護学会誌を一層ご活用いただければ幸甚です。2024年度の論文投稿は、6月下旬から受付を開始する予定です。今後ともご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

藤野 秀美

編集委員会

委員長	藤野 秀美	(東邦大学看護学部)
委員	成澤 明	(東邦大学看護学部)
	金坂伊須萌	(東邦大学看護学部)
	岡本 恵子	(東邦大学看護学部)
	緑川 綾	(東邦大学看護学部)
	高田 聖果	(東邦大学看護学部)
	高宮庸司郎	(東邦大学医療センター大森病院)
	山田 亨	(東邦大学医療センター大森病院)
	大城みゆき	(東邦大学医療センター大橋病院)
	青木夕紀乃	(東邦大学医療センター大橋病院)
	原田 洋平	(東邦大学医療センター佐倉病院)
	早川 未来	(東邦大学医療センター佐倉病院)
